

- 1: 日本語生成パネル準備会合(2)議事録
2:
3: 日時: 2014年9月12日(金) 09:35-11:07
4: 場所: JPRS会議室
5: 参加者(敬称略、順不同):
6: 久保次三 専修大学
7: 後藤滋樹 早稲田大学
8: 小西和憲 APAN-JP事務局長
9: 田代秀一 情報処理推進機構
10: 堀田博文 JPRS
11: 前村昌紀 JPNIC
12: 米谷嘉朗 JPRS
13: 是枝祐 JPNIC(事務局)
14: 欠席者(敬称略、順不同):
15: 高松百合 JPRS(事務局)
16:
17: アジェンダ
18: (1) 前回議事録確認
19: (2) 日本語生成パネルのチャーターの確認
20: (3) 国内での異体字検討の状況
21: (4) 日本語ルールの方方向性議論
22:
23: 資料
24: 1 アジェンダ
25: 2 前回議事録(案)
26: 3 欠番
27: 4 日本語生成パネル チャーター(案)
28: 5 国内での異体字検討の状況
29: 6 日本語ルールの方方向性論点(案)
30:
31:
32: 決定事項および宿題
33: A 前回議事録は承認された
34: B 一部修正を条件にチャーターは承認された
35: C 日本語ルールの検討を継続実施する
36: D 関連する省庁への情報共有・相談を行う
37: E 次回は2014年9月24日午前9:30-11:00とする
38:
39:
40: (1) 前回議事録確認[資料2]
41:
42: 前回議事録は承認された。
43:
44:
45: (2) 日本語生成パネルのチャーターの確認 [資料4]
46:
47: スケジュールを約1ヶ月延伸するという修正を条件にチャーターは承認された。
48:
49:
50: (3) 国内での異体字検討の状況 [資料5]
51:
52: 国内の各分野での異体字に関する検討状況を共有した。
53:
54: また、JGPの認知と情報共有・協力を計るため、異体字検討に関連する省庁等
55: にリーチする努力をすることとした。
56:
57:
58: (4) 日本語ルールの方方向性議論 [資料6]
59:
60: 目的とゴールに対応した異体字の有無検討、異体字有りとする場合の異体字検
61: 討が必要であることをメンバーの共通認識とした。内容については、今後さら

62: に検討を深めることとした。
63:
64: 以上